

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	比較言語論		
英文授業科目名	Academic Writing		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	佐藤 美弥子		
居室	東1-615		

公開E-Mail	授業関連Webページ
satoh@cs.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>最終的には英語で論文が書けるよう、論理的な文章を書く訓練を積む。</p> <p>論理的な文章を書くには、単純明快な文を、有機的に繋げて、論を組み立てればよい。そのためには、無駄を省き、単刀直入に問題の核心に切り込まなければならない。</p> <p>授業では、MITの学生も座右の書としている（正確には、座右の書とさせられている）The Elements of Style (William Strunk, Jr.) や『英語で科学を書こう』（井口道生）を参考に、実際に文・文章を書いて貰い、皆で推敲する。よい文章を書くには、よい文章を手本にすることも必要なので、具体例として挙げた文章を分析して貰うこともする。</p> <p>書くことは考えることに他ならない。考え抜く覚悟のある学生の受講を期待する。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>一年生英語、二年生英語</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>英語演習、佐藤（美）担当一・二年生英語科目</p>
--

電気通信大学 平成19年度シラバス

【教科書等】

プリント等 配布

【授業内容とその進め方】

[主題および達成目標]参照

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中の活動、提出物を成績評価の対象とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。授業終了後が不都合な場合は、教員と学生双方に都合のよい日時。

【学生へのメッセージ】

[主題および達成目標]参照

【その他】